

SNS運用基礎

SNSとは？

ソーシャル・ネットワーキング・サービス

ソーシャル・ネットワーキング・サービスとは、Web上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスである。英語圏では "SNS" という頭字語は日常の文章や会話で用いられておらず、social mediaや単にsocialなどと呼ぶ。

ウィキペディア

主なSNS



Twitter (ツイッター)



Instagram (インスタグラム)



Facebook (フェイスブック)



YouTube (ユーチューブ)



LINE (ライン)



TikTok (ティックトック)

まずはWebデザイナーとして覚えておく事

Webデザイナーのお仕事内容を考えたとき、「デザイン」をする。「コーディング」をする。「ディレクション」をする。「日々の運用更新」をする。「企画立案」をする。等などの様々な業務があり、昨今では一言で「Webデザイナー」といっても「何が出来るひと?」と言われると難しいお仕事の一つです。その中で、仕事(ビジネス)の業務として需要が高いのが、SNSに関する業務です。グラフィックツール(Photoshop・Illustrator)も必要ですし、タグ(HTML・CSS)の基礎知識も必要になります。

Webデザイナーが意識しておくポイントは3つ

- ・埋め込みタグの仕組み
- ・SEO(検索エンジン対策)の効果について
- ・外部リンク使用時の運用の注意点

埋め込みタグの仕組み

Iframe（インラインフレーム）について

iframeとは、Webページ内に矩形の領域を設けて、その領域内にsrc属性で指定したURL（リンク先ページの内容）を読み込んで表示するHTMLタグのことです。Inline Frameの略称で「インラインフレーム」「アイフレーム」と呼ばれます。

埋め込みタグとCSS

IframeはHTMLのタグですので当然、CSS等を使って様々なデザインの調整する事ができます。逆に言えば、出来る事と出来ない事の両方がある事も理解しておきましょう。

参考サイト

<https://seolaboratory.jp/52748/>

埋め込み例

https://samplesdl.me/training_html-css/sns.html

SEO(検索エンジン対策)の効果について

検索の効果は無い

SNSで自分のコンテンツがシェアやリツイートされて共有されても、その共有リンクによる被リンクは無効となるため、SEOへの良い効果が見込めません。

FacebookやTwitterなどのソーシャルネットワーク上のリンクにはnofollow属性が付与されてるので、そのリンクによる直接的なSEO効果は見込めず検索順位に関与しないということです。

プロモーションとしての活用

SNSを活用して、より多くのユーザーに作成したコンテンツ(ブログ記事)が共有されて拡散されれば、ブログなどのWebサイトで参照されやすくなります。

そうなれば、参照リンクによる被リンク獲得が促進されるので、SNSによる間接的なSEO効果が期待できるようになります。

参考サイト

<https://seolaboratory.jp/39614/>

外部コンテンツ使用時の注意点

外部コンテンツなので突然変わる可能性がある

外部コンテンツを利用しているという事は当然ながら、そのコンテンツの都合によって突然サービスが終了したり、掲載方法が変わったり、無料だったのが有料に変更したりしますので、クライアントさんへの報告はしっかりと行っておきましょう。

あまり依存しないようにするには？

サービスの内容をしっかりと理解して利用することは必須です。また代替えのサービスを把握しておく事、技術的に解らないままにしておかない事を注意して、技術的にもコンテンツのサービス的にも理解を高めておきましょう。

参考サイト

<https://samplesdl.me/deau-e/sns001>

就職活動に向けての ワンポイントアドバイス

SNSの業務もWebデザイナーのお仕事です。

求人検索で「SNSコンテンツの運用」とあればここまで学んだグラフィックツール(Photoshop・Illustrator)を使うチャンスです。

また日々活用しているSNSの知識経験が実務スキルとして活かすことも可能です。

一つのスキルとして上手く就職活動の武器にしてみてください。

1. SNSに掲載する写真の加工業務やバナー作成
Photoshop・Illustrator

2. Webページへの掲載(埋め込み)や運用更新
HTML・CSS

3. 日々の運用更新やプロモーション活動
普段使いの経験と体験によるスキル

